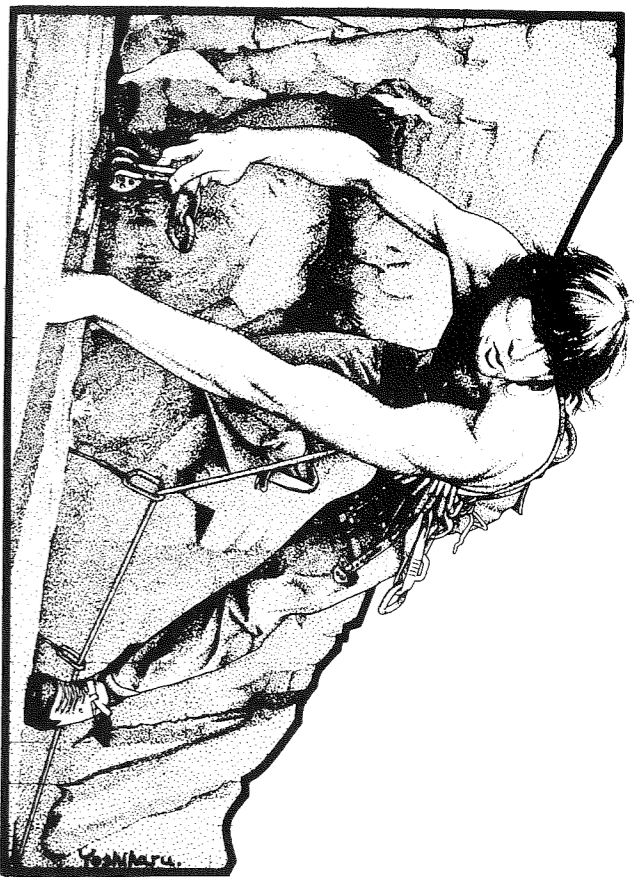


# CLIMBING REPORT



## 北海道の新感覚

日高新冠海岸群南峰スラブ  
右ルート、ダイレクトルート  
1984年1月16日、2月12日  
上内幸一(静内同人)

日高地方の中部、新冠の海岸にある南峰スラブをトレスした。両ルートとも単独。短いルートだがこの地方においては貴重なロックエリアといえる。うしろは砂浜、近くには国鉄・日高線も通り、また馬のいる牧場もあってなかなかいいところだ。ひとりで壁にぶらさがって、ふとうしろを振り返ると、ゴム長をはいたコンブ拾いの漁師が安然としてこつちを見上げていることもたまにあるが、それを除くとまったく静かだ。壁はわたしが岩登りを覚えた鷹取山(神奈川県)と同じ砂岩でスラブが

多いが、岩質は比較的しっかりしている。それぞれ3Pのショートルートだ。

(上内幸一)

## 足尾山塊に見た今冬の厳寒ぶり

松木川小足沢

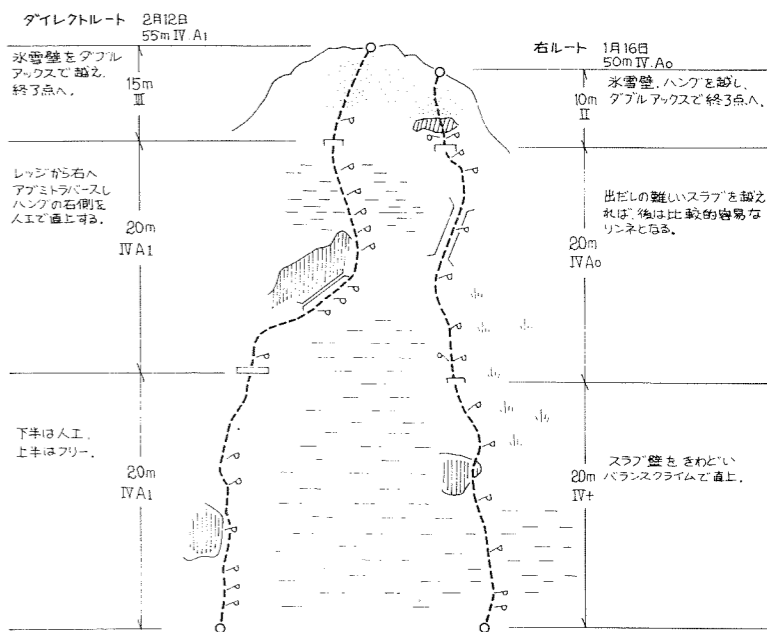
1984年2月11~12日

近藤和美、今井利雄(九山同人)84バミール登山隊、中川和道(九山同人)84バミール登山隊、星稜登山会) 数10年ぶりの異常寒波を利用して、普段はなかなか結水しない小足沢を目標に選んだ。出合からすぐさま深いラッセル。F1(5段)は滝ソボが凍っておらず取付不可能で、右岸をまく。F2は氷の下から水流音が声高に聞こえるもの何とかな安定している。最も易しい右側から取付き、5分ぐらいのところで正面寄りに回

り込み、チョックストーンの左下を快適に登る。ピトンは、確保用にアイスクリューを2本、中間支点にアイスクリュー一本とロックピト一本を使用した。ロープ距離25段で難しさは中級下。確保点は滝出口の左上に生えている細いブッシュ数本を用いた。

F3は2段でロープ距離は下段40段、上段30段。上、下段とも5段立方のつらのブロックを積み上げたような形状であった。下段下部は濡れ水で、ブロック状の氷の頭にあたる傾斜がゆるいところは雪が深く、

日高新冠海岸群南峰スラブ



雪をおとしてアイスハンマーを打ち込むやっかいなクライミングであった。

取付は中央部でしだいに右よりに登るが、部分的に1段の垂直部が何度かあらわれた。30分ぐらいのところに氷が薄い部分があり、踏み抜いた空洞の底に盛大な水流が望まれ、水音が一気に響きわたった。35段で中段の広いテラスに出るが、右側の

## 西上州に発見した思わぬプレゼント

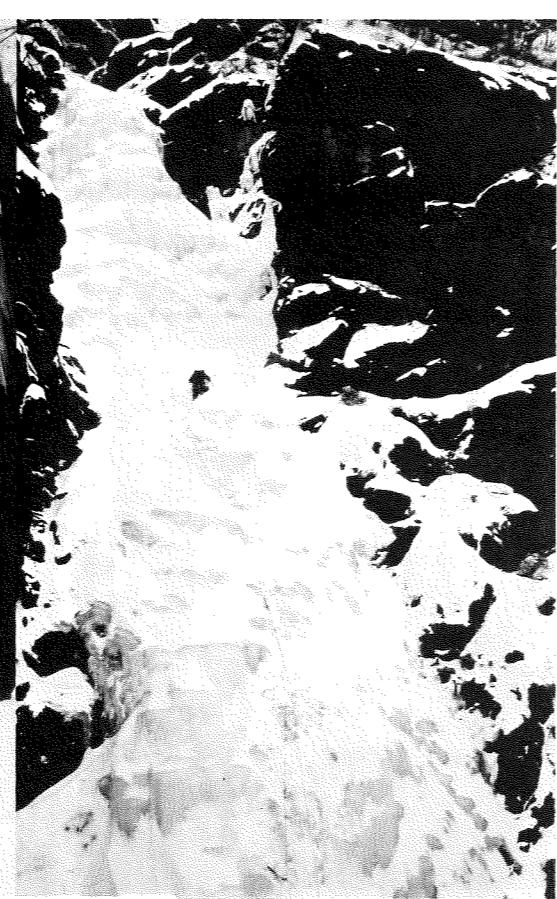
荒船山犬殺しの滝

1984年2月12日

犬木精一、沢上登、津田泰男(JC)

雪をおとしてアイスハンマーを打ち込むやっかいなクライミングであった。取付は中央部でしだいに右よりに登るが、部分的に1段の垂直部が何度かあらわれた。30分ぐらいのところに氷が薄い部分があり、踏み抜いた空洞の底に盛大な水流が望まれ、水音が一気に響きわたった。35段で中段の広いテラスに出るが、右側の

今冬もクラブで幽ノ沢集中山行を行うことになった。しかしこのころ降り続いた雪はあまりに多く、谷川岳を見ることもなくリターン。か



右/小足沢F3、30段の水を登る。近藤和美撮影  
左/荒船山犬殺しの滝を登るJCパーティ 犬木精一撮影



## 奥秩父の秘められた水瀑群?

(津田泰男)

乾徳山麓のアイスゲレンデ(仮称スカイダスト)  
ブラクティスナンバー1  
アイスクャンデー  
アイスティックス  
1984年2月5日  
高島悟、佐藤和(慶大岳朋会)、広川健太郎(春日井山岳会、日本山岳会 東海支部)

昨年、乾徳・黒金山ヘラッセルにきた折りに見つけた。未踏の小氷柱を今回登ってみた。

アプローチは乾徳山登山口バス停より約20分。交通至便である。登山道が山腹に取付く前に左下の沢へ遊歩5分ほどで一見ちんけな水瀑群に至る。

ブラクティスナンバー1  
最も左寄りに位置し幅は6段ほど

ラが発達した氷を登り、いくらか傾斜の緩んだところで苦勞してプロテクションをとり、なおも急なフェリスを左上。垂直部を抜けてから階段状になった氷壁を登り40段でビレイ2P目、80度の壁を抜け、雪のたまったところにて20段で最後の垂直壁へ。取付に2本のピトンを打ち、いっきに抜けようとしたが、垂壁の抜け口で上の緩斜面にバイルを打ち込もうとしていて墜落。12分ぐらい落ちた。休んでから再び登り始め、今度は慎重に登り終えた(35段)。中段で傾斜が落ちるが面白い滝であった。75段V+。

である。左に寄るほど難しい。中間で一度傾斜が落ちる。上部は薄い氷を登り終了する。28段。IV-IV+。ブラクティスナンバー2  
ナンバー1右のキャンテ状より取付き、60~70度をしばらく登りハンダ下を氷伝いに微妙なトラバースで終了。トラバースにハンダ上の木を使つてしまうとガクツと易しくなる。18段。IV。  
アイスクャンデー  
スターダストの中央に位置する前傾壁の小さなハンダから水面へと垂れ落ちた氷柱。壁から離れている。末端の発達が悪かった為に登り出しはハンダしている様に感じられた。90度が10分弱続き、上部は40度~50度が続き、20分ちようどくらいで終了する。短い困難なルート。大同心大滝の中央、右ルートと同じく